

★キリンのごきげんよう

「草原の世界」キリン・エサ台横にて
お客様にサイコロをふっていただき、
出た目のテーマに沿って
飼育スタッフが解説します。
最後にはエサを食べる様子もご覧いただけます。

日時：土日祝 14:30～14:45

場所：「草原の世界」キリン・エサ台横



★ヤギのおはなし

ヤギが頭上の丸太を渡る様子がみられるかも！

日時：毎日 12:20～15分程度

場所：ふれあい動物園 ヤギ岩山

★ウサギとモルモットのタッチタイム

子どもたちに人気のイベントです！
ふれあい動物園「ふれまる」で、
かわいいウサギとモルモットとふれあおう！！
癒されますよ～☆

日時：毎日 13:30～14:30

土日祝 11:00～12:00

13:30～14:30

場所：ふれあい動物園「ウサ・モルハウス」



森のお便り 11月号 2015年

発行・編集「到津の森公園」「森の仲間たち」15年11月1日発行 通巻153号

ゆめある動物園プロジェクト ～どんぐりとどうぶつ～

11月15日(日) 13:00～15:00

定員4組(1組4名様程度)

※11月3日から電話にて事前申込み受付
園内でどんぐりを拾って動物にやり、
それを食べる姿を見ながら
どんぐりと動物たちの関係を学びます。



☆～森のおはなし探検隊～☆

子どもから大人の方まで楽しめるプログラムを
月替わりで開催しています。
多くの方のご参加をお待ちしています。

11月のテーマは「はっぱでお絵かき」

今月は、木の葉を使って
「はっぱおえかき」を行います。

上手におえかきできるかな！

開催日時：11月8日(日) 13:00～

開催場所：子どもホール

参加費：無料・事前申込不要(別途要入園料)



森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
小倉北区上到津4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HPもしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

花 暦 霜 月

先月11月のコミカンソウに次いで、またまた雑草中の雑草。ほとんど存在を気付かれていないクワ科クワクサ属のクワクサです。

クワ科といえば養蚕のクワをはじめ、イチジクやコウゾ(和紙材)、ゴムノキ類(生ゴム)など人間に役立つ植物の多い仲間です。

ではクワクサは…。どこにいても印象の薄いことこの上なし。でも立派な日本在来種で、南・北アメリカ・朝鮮半島はじめ東南アジアまで外来種として進出している強者でもあります。草丈は30~60cm、茎は直立して紫がかって見える事が多い。クワ(切れ込みのないタイプ)の葉に似ているところからクワクサと名付けられた葉は互生、縁はギザギザ、毛が全体に生えていて触るとふわふわしています。

秋には葉の付け根に、ごく小さな雄花と雌花が固まって付きます(雌雄同株・集散花序)。開花前の見た目は、暗い緑と紫のまだら色。全くさえません。

先日ボランティア仲間のカメラマン女史に撮ってもらうため、南ゲート入場口前のフェンスまでゆきました。早速ファインダーを覗くと、花の固まりの中で白い花びら4枚の小花(径3ミ位)が一つ見えています。

撮った数枚の映像を確かめて、女史は気に入りません。もう一度とレンズを向けると、あらら花の様子が変わっています。今撮ったばかりなのに。花びらと思って写した部分は白い小人(恋人ではない)のようなものが4つ、立ち上がっています。よくよく観察し、考え、結果を図鑑で確認。

ラッキーというべきか、今雄花が開花したのです。花の塊の中の雌花からはすでに紫の雌蕊が立ち上がっています。先程白い花びらが4枚と見たのは、つぼんだ雄花の中で内向きに折り畳まれていた雄蕊が、雄花の開花の始まりによって、見えだした姿だったのです。完全に開花すると雄蕊は急に反り返り、4人の白い小人が立ち上がった形となり、頭の花粉が入った袋が開いて花粉を撒き散らします。この撒き散らす瞬間を逃したのは残念ですが、平凡な雑草の生き生きした姿を楽しみました。 文：花咲くおぼさん

森のなかま・マンドリル

マンドリル生まれました！！

9月16日。マンドリルのマンタロウ(♂)とココ(♀)の間に男の子の赤ちゃんが誕生しました！ココは2013年8月18日に第1子のニコを出産。今回は2度目の出産ということもあり、落ち着いた様子で子育てを行っています。

生まれたときはお母さんがしっかりと抱き上げ、赤ちゃんもお母さんに抱きついていましたが、1週間もたつとまわりの物に興味を示しだし、お母さんに抱かれながらも、体をのりだし手を伸ばして、お母さんが食べているエサや、木の枝、落ち葉などを触り始めました。その後、徐々にお母さんからおりるようになり、お母さんのそばで遊び始め、1ヶ月もたつと、授乳や寝るとき以外は、お母さんに抱かれることが少なくなりました。

今では遊びたいばかりに、お母さんから逃げるように、運動場をピョンコ、ピョンコと跳ね回り元気よく遊ぶ姿が見られるようになりました。とは言え、まだまだ赤ちゃん。ちょっとビックリすることがあるとすぐ声をあげ、お母さんに抱かれます。

日々成長を見せてくれるマンドリルの赤ちゃんを、是非みなさん見に来て下さい。

そして、これからも健やかな成長を温かく見守って下さい。



飼育展示係 延吉 紀奉